

2024年度 第1回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2024年4月22日（月）

場 所 豊岡市役所本庁舎7階 第3委員会室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後3時10分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	升田 敏行

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に参加した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課長	木之瀬 晋弥
	教育総務課参事兼学校給食センター所長	本庄 昇
	学校教育課長	寺坂 浩司
	学校教育課参事	吉谷 孝憲
	幼児育成課長	向原 芳江
	社会教育課長	旭 和則
	教育総務課参事兼課長補佐	栗垣 敦子
	教育総務課教育総務係長	足立 美由紀

事務局以外	子ども支援課子ども支援センター所長	鳥居 保
	文化・スポーツ振興課参事	福井 孝道

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

飯田 正巳 委員

第2 前回の会議録の承認

2024年3月28日（木）開催 2023年度 第12回定例会

第3 教育長の報告

#### 第4 観光文化部の報告

##### 1 文化・スポーツ振興課

- (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第10回おんぷの祭典」について

#### 第5 議事

- 議案第1号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について
- 議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
- 報告第1号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について（豊岡市児童・生徒通学（園）費補助金）
- 報告第2号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について（豊岡市保育対策総合支援事業補助金、豊岡市認可保育所等運営支援事業補助金）
- 報告第3号 寄附物件の受納について

#### 第6 教育委員会事務局の報告

##### 1 教育総務課

- (1) 2024年度事務概要等について

##### 2 学校教育課

- (1) 生徒指導の状況について
- (2) 令和6年度自然学校の実施について
- (3) 令和6年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について
- (4) 令和6年度修学旅行の実施について

##### 3 幼児育成課

- (1) 校区別乳幼児・児童生徒数について
- (2) 2024年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について
- (3) 2024年度放課後児童クラブの入所状況について

#### 第7 こども未来部の報告

##### 1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

#### 第8 委員活動報告

#### 第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

---

開会 午後1時30分

---

(教育長)

ただ今から、2024年度第1回教育委員会会議を開会いたします。本日は、在任の教育委員がすべて出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

### 【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は飯田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

### 【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。3月28日に開催しました第12回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

### 【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回3月28日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

#### 《教育長の報告概要》

金曜日のチューリップ祭りに但東中学校の3年生の生徒が全員スタッフとして参加したので、その視察に行ってきました。但東中学校の歴史は2016年、9年前の修学旅行の時、東京に豊岡のアンテナショップがありましたので、そこで特産品を売り、豊岡や但東のことを紹介し、どのような意識で豊岡のことを眺めてもらえているのかを知る活動を始めました。しかし、数年後にアンテナショップが閉鎖され、今度は場所を変えて但東のシルク温泉に店舗を出し、そこで名産品を扱いましたが、残念ながらコロナで中止になりました。2年前からチューリップ祭りに注目し、ここにスタッフとして参加できないかと申し入れたところ、但東町の町民は子ども達を大切に町全体で子どもを見ようという機運もあり、今年で3年を迎えますが、本当に生き生きと活動していました。

3班に分かれており、1つの班は案内係で、但東町のことについてお客さんに案内をします。2つ目はガイドで、チューリップ祭りの園内でガイドをします。3つ目に人気沸騰したのが、チューリップを背景にしてお客様の写真を撮る係です。

アンテナショップの時もそうですが、総合的な学習です。例えば、チューリップがどういう生

態なのか、いつ頃球根を植えて、どんな種類があって、世界にはどんなチューリップがあるかを  
知っておかなくてははいけません。これは理科になります。それから、なぜチューリップ祭りをし  
ようとしたのか、地域について知らなくてははいけません。これは社会科です。それから話しかけ  
るにはどう伝わるように言語化するのか、様々な教科、領域を総合してやるのが総合的学習の典  
型的な例です。それが地域貢献にまでいかなかったのが現場の実態ですので、それを先進的に  
やっているのが、但東中学校でした。

最後に、お客様にアンケート調査をしていました。年齢、性別をはじめ、次のうち知っている  
ものを教えてくださいという項目もあり、シルク温泉や但熊、赤花そば、東井義雄記念館など10  
数個聞いていきました。それからチューリップ祭りを知ったきっかけ、どこから来たかを聞きま  
した。中学生がやっている「但東町いいとこ発見伝」を知っていますかと聞いても、知っている  
人はほとんどいなかったです。そのほかチューリップ祭りの感想、意見や改善点を聞いたりしま  
した。

実行委員会に、この感想と寄せられた意見を自分たちで解釈をし、そしてチューリップ祭りが  
持続可能なものとなり、もっと精度を上げるために但東中学校としてこういう意見がありますと  
いうところまでいかないと本物にはならないです。オーセンティックな企画にはならないと思っ  
ていますので、そこは但東中に宿題を出していますが、いい試みの1つだと思います。1日しか  
開催しませんでした、来年も続けてくれると思います。

もう1つは、学力調査がありました。今までとほとんど同じ形式ですが、委員の皆さんにもど  
ういう問題が出ているのか1つだけ紹介をしておきます。小学校の国語です。

「小学校2校がそれぞれ取り組んでいる活動をオンライン交流で伝える」という問題です。交流  
している一部が問題文となってやり取りしているが、向こうの子が「よく分からなくなったので、  
もう1度教えてもらえませんか。」と聞きます。こっちの子がなぜうまく伝わらないのかという  
事を考えて、改善して説明の仕方を変えて説明し伝わりました。どんな工夫があったのかとい  
うことを答えましょうという問題です。

それから書くことでは、自分の学校の良さを伝える問題があり、事実と感想と意見を区別して  
100字以内でまとめるという問題です。

また、読むことでは唯一の物語文がありました。実際にある童話でハエとクモが登場する物語  
で、それを読んだ2人が自分の感想を話し合います。その2人はどこが心に残り、なぜ心に残っ  
たのかという理由をやりとりするのが問題文で、その上であなたはどんな感想を持ちましたか  
という問題。これも100文字以内でまとめる。書いてまとめなくてはいけない、趣旨に沿ってま  
とめなくてはいけない、本文の言葉を引用しなくてはいけないという問題です。

最後は、読書の意義を実感させるという観点から、他人の読書記録を読みとらせる問題です。  
この人は共通してどんな本を読んでいるのでしょうかという質問です。

昨年一昨年もそうですが、形式が異なる文章です。今回ならメールの文章、オンラインでの対  
話文、取材メモや物語文や読書記録です。様々なジャンルの文を読み解いて、さっき言ったよ  
うに目的や意図に応じて自分の考えを伝わるようにして書いてまとめます。学力調査といえば、ど  
この県が何点とったかとよく論じられますが、本当の狙いは、これからの子ども達にこういう資  
質をつけてほしいというメッセージなのです。だから物語を読んで、「作者はどんな気持ちで  
しょうか」「作者の言いたいことはどこでしょうか」「主人公の立場に立って考えよう」ではな  
くて、いろいろな文章を読んで適切に自分の考えをまとめて伝えるという、そういう授業をして

ださいということです。1人でコツコツ読んで、読書をいっぱいして言葉を知って答えるという問題ではなくて、やり取りをしながら共同的な学びをしながら自分の考えの精度を上げ、伝えたいことがうまく伝わるようにするということです。1つはいろんな教材を使いましょうということです。様々な形式の異なる文を読みましょう。2つ目は学習方法として共同的であるということです。

これから結果が7月に出ますので、それぞれの学校は今言ったような問題の読み取りと同時に先生たちも実際にやってみて、そして自分たちの学校の子も達にどんなところに課題があるのか、子ども達の課題は先生たちの課題だと受け取って、授業の中でどういう工夫をしていけばよいか各学校でやります。教育委員会の代表者が集まって、それを学力向上検討委員会に収集し、それから豊岡市の全体の共通した課題を洗い出して、それを実際に授業でやってこんな工夫をすれば解決ができるという実践書を作って先生達に配布をします。今年もそのような流れでやっていきますので、皆さんも最近はそのような問題が子どもたちに出ているということを知っていただきたいです。

#### 【日程 第4 観光文化部の報告】

(教育長)

日程第4 観光文化部からの報告に移ります。文化・スポーツ振興課 (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第10回おんぷの祭典」について、文化・スポーツ振興課参事の説明をお願いします。

##### 1 文化・スポーツ振興課

###### (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第10回おんぷの祭典」について

《文化・スポーツ振興課参事の説明概要》

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第10回おんぷの祭典」について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

#### 【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。議案第1号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について、議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命については、人事に関する議案となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、非公開といたします。傍聴いただいている方には、申し訳ありませんが、非公開議案となりましたので、審議が終了するまで、ご退席をお願いします。

○ 議案第1号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について

【非公開会議】

《 豊岡市奨学生選考委員会規程第3条及び第5条の規定に基づき、豊岡市奨学生選考委員会委員を委嘱することについて、教育総務課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

○ 議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

【非公開会議】

《 豊岡市立学校給食センターの設置及び管理に関する条例第5条の規定に基づき、豊岡市学校給食センター運営委員会委員を任命することについて、教育総務課参事兼学校給食センター所長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。非公開議案のため退出いただいた傍聴人の方には、お入りいただくよう案内をしてください。

(教育長)

続きまして、議事(報告)に移ります。報告第1号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について(豊岡市児童・生徒通学(園)費補助金)、学校教育課参事の説明をお願いします。

○ 報告第1号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について(豊岡市児童・生徒通学(園)費補助金)

《 学校教育課参事の説明概要 》

豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

豊岡市児童・生徒通学(園)費補助金にかかわる自転車購入補助について、従来の通学距離による区分を公平性の観点から廃止し、通学距離に関わらず一律交付に変更するというものである。

従来は通学距離について6kmまでは10,000円、6km以上からは20,000円としていたところ、改正後は一律20,000円の補助と改めたものである。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

これは拡充と捉えてよろしいのでしょうか。例えば自転車を買うのだったら通学距離が遠くても近くても自転車を買うのは同じであるからという解釈ですか。

(参事)

はい、そういう趣旨での改正です。

(教育長)

他にはございませんか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定（豊岡市児童・生徒通学（園）費補助金）を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第2号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について（豊岡市保育対策総合支援事業補助金、豊岡市認可保育所等運営支援事業補助金）、幼児育成課長の説明をお願いします。

**○ 報告第2号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について（豊岡市保育対策総合支援事業補助金、豊岡市認可保育所等運営支援事業補助金）**

《 幼児育成課長の説明概要 》

豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

私立園での保育の質の維持・向上と保育士等を安定して継続的に雇用するための人件費に対し支援を行うこと及び市単独補助金制度の事務手続きの迅速化及び効率化のため、所要の規定の整備を行うもの。

改正内容は、豊岡市認可保育所等運営支援事業補助金を新設し、配置基準超過保育士等支援事業として給付費常勤換算人数と年齢別配置基準等を比較し、超過して職員配置を行っている園の人件費を支援するための補助金制度を新設。それに伴い、保育利用支援事業補助金を廃止している。

豊岡市認可保育所等運営事業補助金から豊岡市障害児保育事業補助金、豊岡市重度食物アレルギー児対策事業補助金を新設した豊岡市認可保育所等運営支援事業補助金に統合して、事務手続きの迅速化効率化を図っている。

なお、豊岡市託児保育者補助金については、対象となる事業者が無くなったため廃止。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定（豊岡市保育対策総合支援事業補助金、豊岡市認可保育所等運営支援事業補助金）を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第3号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

### ○ 報告第3号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体 27 件、個人 3 件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。今回は、卒業記念品等たくさんあった。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

出石ライオンズクラブが、出石・但東・竹野等地域に帽子を寄付していただいているが、豊岡・城崎地域はどうでしょうか。

(教育総務課長)

いたっていません。これは、出石ライオンズクラブの会員のお住まいの地域の学校にいただいています。

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

## 【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。まず、教育総務課 (1) 2024年度事務概要等について、教育総務課長から順に説明をお願いします。

### 1 教育総務課

#### (1) 2024年度事務概要等について

《教育総務課長の説明概要》

2024年度事務概要について、資料に基づき説明する。

教育総務課では2本あり、第5次とよおか教育プランの策定と教育・保育施設整備等の推進と



小中学校適正規模・適正配置計画の推進等である。

第5次とよおか教育プランの策定と教育・保育施設整備等の推進だが、基本方針として、第5次とよおか教育プランの策定にあたり、非認知能力の向上と子どもたち1人1人のウェルビーイングの確保の2つを重要な視点とする。

また、施設整備について、子どもたちの安心と安全を第一に、施設の複合化や脱炭素等への新しい取り組みも検討し、効率的な包括管理等において維持管理、改修を図る。

概要として6点挙げている。

1つ目は、第5次とよおか教育プランの策定で今年度とよおか教育プラン策定委員会を設置し、1年をかけて新しいプランを策定する。

2つ目は、学校施設個別施設計画に基づく計画的な改修として、今年度から3ヶ年をかけて、三江小学校そして今年度来年度で竹野地域の義務教育学校の改修を行う。

3つ目は、老朽化した空調設備の更新と中学校体育館への空調設備の整備で、西保育園については6月末完了予定。中学校体育館については竹野中学校を除く8校について全て発注済みで、6月末には完了予定。

4つ目は、児童生徒1人1台端末を活用するというので、2点挙げている。

5つ目は、安全安心な学校給食として、今年度も地産地消率30%を目標として、地産地消に努めていきたい。また、食物アレルギーでの取り組みも継続して推進していきたい。

6つ目は、安定した学校給食の提供で、質や量、栄養バランスを保った給食を提供するため毎年度物価変動に合わせて学校給食費を決定する。

続いて、小中学校適正規模・適正配置計画の推進等を掲げている。

1つ目は、計画の推進として小坂小学校と小野小学校の統合について、小野小学校保護者及び小野地区の代表者と協議を継続している。但東地域についても、但東地域の小中一貫校、義務教育学校の開設に向けた説明会を今後開催していきたい。

2つ目として個別の統合協議等の推進を掲げている。竹野地域については開設準備委員会を設置し、義務教育学校の開設に向け協議を進めている。また、小規模特認校の八代小学校について、今年度は校区外からの応募がなく、この取り組みについて評価、検証を行い、来年度の入学者募集に向けた調整を行う。

豊岡小学校の分散進学について、PTAで現在豊岡小学校分散進学問題検討委員会を設置され、検討されている。次回のPTA総会において、問題を発議されると聞いている。

#### 《学校教育課長の説明概要》

2024年度事務概要について、資料に基づき説明する。

豊岡市における教育の充実について、基本方針1つ目は、子どもたちの発達段階や多様なニーズを踏まえて、幼児教育から小・中学校までの接続を重視しながら「あたまの力」「こころの力」「からだの力を」バランスよく育成し、「生きる力」を育む。

2つ目は、教職員1人1人の資質・能力の向上とチーム学校としての組織力、安心安全な教育環境の整備である。

3つ目は、学校、家庭、地域が連携、共同した教育の推進である。

概要の主なものとして、4点説明する。

1つ目は、非認知能力向上についての取り組みの推進である。昨年度は、取り組みの核となる

演劇ワークショップを市内の小学生1年生全と、希望する小学校2年生の8校で実施してきたが、今年度から全ての小学校1、2年生で演劇ワークショップを実施する。

2つ目は、4番の不登校対策の充実である。不登校対策について、本市において非常に大きな教育の中心課題となっている。昨年度末時点で一昨年度の同時期と比べて約17%の増加となっている。このことを踏まえて、時代に合わせて豊岡市不登校対策アクションプランを改定したところである。また、新しいアクションプランを踏まえ関係機関とも連携し、新たな取り組みを進める。その1つとして、学校の安心できる居場所となる校内サポートルーム。これは全ての学校で設置があるが、新たに全中学校と小学校4校に支援員を配置する。現在13校中の11校に配置が終えており、空いているところの配置にこれから向かっていきたい。

3つ目は、10番の「学校における働き方改革」の推進である。教員の長時間業務が課題になっている。今朝もニュース等で出ていたところである。昨年度市の学校における働き方改革推進方針を改定し、勤務時間の明示や、留守番電話の活用等新たな取り組みを加えている。今年度も学校と連携し、どういった取り組みができるか新たな取り組みを検討していきたい。1番大事なことは全ての関係者の協力が必要ということで、保護者や地域の方々の理解を得ながら進めていきたい。

4点目は、11番の「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な実施である。コミュニティ・スクールについて、今年度から全ての市立小中学校に導入していく。地域と学校がパートナーとなって連携・協働して行う地域学校協働活動と一緒に一体的に実施することで、学校を核としながら子どもたちの成長を支える地域全体の教育力の向上を目指す。大学との連携も今後さらに進めていきたい。テーマについても学校独自の課題、市全体の課題様々なものがあるため、学校との情報共有をしながら、教育委員会も支援をしていきたい。

#### 《幼児育成課長の説明概要》

2024年度事務概要について、資料に基づき説明する。

就学前の教育・保育の充実について、基本方針として、「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、就学前の教育・保育及び子育て支援事業の充実を図るとともに、待機児童解消対策を進めていく。

また、「『スタンダード・カリキュラム』活用の手引き」を活用しながら、子どもに寄り添った就学前の教育・保育を推進する。

概要について、1つ目は、待機児童解消対策の推進について挙げている。2021年2月に策定した、豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画に基づいて、事業を推進していく。具体的には、放課後児童クラブの専用施設化にむけた改修として、日高放課後児童クラブだが、この3月末に閉園した日高幼稚園を放課後児童クラブの専用施設として活用するため、トイレ改修等の整備工事を行う。昨年度実施計画は終えていて、今年度は整備工事に取り掛かる。

2つ目の就学前の教育・保育の充実だが、安全安心な環境の構築と非認知能力を重視した子どもの理解の推進について、2020年2月に策定した、第2次スタンダード・カリキュラムと2022年11月に策定した活用の手引きを基に保育を実践する。学びの公開保育や経験年数、担任年齢別研修を重ねながら、目の前の子ども1人1人に寄り添い、子どもの理解をさらに深めることにより保育実践力を高め、教育保育の質の向上を図る。

《社会教育課長の説明概要》

2024年度事務概要について、資料に基づき説明する。

社会教育、生涯学習の充実と推進について、基本方針で3つ挙げている。

1つ目が、社会教育基本計画の策定である。先月の教育委員評議会において説明したが、市の社会教育が目指す姿、理念や社会教育行政が果たす役割を明確にする社会教育基本計画の策定を7月公表の予定で進める。

2つ目は、多様な学習機会の充実と読書活動の推進である。生涯学習サロンでの講座を中心とした生涯学習活動の推進、くすの木学校、青い鳥学級を開設して障害者の社会自立を目指した学習機会の提供をしていく。図書館では昨年度に小学校高学年及び中学生を対象に導入した、電子書籍を一般にも利用拡大する。また、図書館未来プランの事業評価の指定の1つである、子どもの読書支援を推進するため、各学校クラス単位での本の団体貸出、出張おはなし会、よみきかせの講師派遣など各校と連携して事業を進めていく。

3つ目は、家庭・地域の教育力の向上と青少年健全育成の推進である。子どもと心でつながる市民運動推進協議会、子ども会、PTAの活動を支援し、地域行事への子どもの参加を促し青少年健全育成推進の活動を進めていく。なお、子どもと心でつながる市民運動推進協議会については、平成22年2月の市内の中学生による傷害事件をうけて設立したものであるが、今年度末で設立して15年が経過する。組織体制の見直し等も検討を進めたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

学校教育課の部分で、12項目のうち中学校部活動の地域連携で、豊岡スポーツ協会から各スポーツ団体へ紹介がありましたが、以前からやっているスキー関係が今回の種目に入っていません。学校の先生はスキーの全国大会など色々なところへ行けていない状況です。地域の指導者が引率していたので、ぜひ入れて欲しいです。学校にスキー部が無いことが理由だと思われます。

(教育長)

スポーツ協会から何がありましたか。

(飯田委員)

スポーツ協会から人材募集、登録募集の呼びかけが回ってきており、ぜひ登録をという呼びかけがありました。

(教育長)

それはスポーツ協会が作っているのですか。その中にはスキーは入っていないのですか。

(学校教育課長)

スキーは入っていないです。季節物などは入っていないです。

(教育長)

それも含め、水泳やアイスホッケーなど漏れている可能性もあります。

今地域移行として考えている対象に限定してやったのかもしれませんが。今まで行っているものは成立していて、指導者もいて、大会もやっています。ゆくゆくは、子どもがやってみたいというスポーツの指導者がいれば広がっていきますが、働き方改革と学校規模が減少していることによって限られていることを解決するための地域移行のため、今ある現存した部活動を対象にしてアンケートを取ったのだと思います。

(飯田委員)

了解しました。

幼児育成課の関係で、2022年に作られたスタンダード・カリキュラムの現在の活用状況はどうですか。

(教育次長)

基本的には全園で使われています。それを基に研修等も入っています。

(飯田委員)

ぜひ活用してもらえたら、うれしいです。

社会教育課の関係で、多様な学習機会の充実と読書活動の推進の中に、学習機会の充実という部分で各地域にコミュニティがあります。その中にある色々なサロン等と全体的な取り組みのあり方についてバランスはとれていますか。例えば、日高のサークルでコミュニティの許可を得て書道をしている方が、社会教育課が主管するものにも一緒にできることがあるのですか。

(社会教育課長)

今ここで生涯学習サロンを掲載させていただいているのですが、そこは13講座あります。月に2回とか3回あるのですが、そこと例えば地域コミュニティに帰られて、そこで学んでおられる方も当然あると思います。こちらのほうでは地域コミュニティの活動の把握は十分できておりませんので、その活動の詳細については把握してないのですが、連携としては今後していけることはあると思います。地域コミュニティでもしていただいて、誰かきっかけを作っていただいて、生涯学習サロンでまた新たに講師の方に学んでいただくということもできますし、そこは別々のものと考えています。

(飯田委員)

学ぶ側としたら、地域でもやって、社会教育課の所管分でもやることは可能で、選択肢が増えているという意味ですね。

(社会教育課長)

そのとおりです。

(飯田委員)

子どもと心でつながる市民運動推進協議会組織の再検討について、具体的に教えてください。

(社会教育課長)

基本は各コミュニティが中心の青少年健全育成会議（市内22）が中心となって、行政関係、防犯協会、学校関係、区長会など幅広い範囲で構成して本協議会はあるのですが、実質の活動が年1回総会で顔合わせをして、子どもの現状などの情報共有をさせていただいています。実質その活動が年1回であることと、先ほども申しましたように15年を経過しまして、だんだんその子どもたちの活動が、外で活動することよりもSNSなどの問題が中心となっており、今この広い枠組みの中で年1回している協議会のあり方が適正なのかというのもあり、そこはもう1度意見をいただきながら組織の在り方をもう少し縮小していくのか、今年度検討いきたいと考えています。

(飯田委員)

防犯協会の関係でも、旧豊岡と各旧町の流れでは違います。豊岡市で統一してほしいです。青少年補導委員の問題にしても、旧豊岡と各旧町の取り組みでは違っていています。委嘱状は、公益社団法人兵庫県防犯協会連合会から来るのですが、その辺の流れも少しずれているなど感じました。豊岡に合併してからもう20年になるので、そこら辺の扱いも、それぞれ地域によって実践のやり方も違うと思いますが、統一できることはないかなと思いました。

(社会教育課長)

委員の言われるとおりで、青少年補導委員の組織にしても、もともとは旧豊岡が中心となっていますので、そこに各町単位の防犯協会の方が兼務されている方が多いと思います。それにも一部指摘がありまして、そこももう少し整理がいることも確かに言われていますが、旧豊岡の方が拡大していくということで、旧豊岡だけでなく市全体に広げていくという時に、核となる所として防犯協会がすでにありましたので、そこから入っていただく形で、兼務されているのは実質あると思います。青少年補導委員と防犯協会の役員を兼務は確かに多いと思います。

(教育長)

今言った防犯協会などはその姿は残していきますが、子どもと心でつながる市民運動は何のためにするのかというターゲットを絞って現代的な課題に対応するためにできたもので、当時は15年前に、大きな暴力事件がありました。そのきっかけだったのですが、今はむしろSNSもそうですし、不登校の問題がすごく大きいです。不登校の対策として地域に居場所がある、サードプレイスがあるというのはこれから展開する1番大きな眼目ですので、この協議会がなくなってもそういう意味で青少年健全育成協議会とかが、うちの地域でどんなことができるかと話題にしていたり、それからコミュニティ・スクールで話題にさせていただきながら、そちらにターゲットをもっていきたいです。それははっきりとどこかでアナウンスしていく必要があります。防犯協会、補導委員協議会は、それはそれで活動していただきたいと思いますが、そこで共通して取り組むべきことが目標であったら、話題にしてもらいたいと思いますが、この子どもと心でつながる市民運動はシフトチェンジしていこうと思います。

(飯田委員)

青少年健全育成町民会議というのがありますが、それも十分な機能を見せられないというのがあります。ぜひ生かしてほしいと思います。

(向井委員)

幼児育成課で、待機児童は今どれくらいいますか。

(幼児育成課長)

この4月1日では保育所、認定こども園では0人ではありますが、随時、入所を希望される方がありますので、待機の方は何人かあります。申込期限外に申し込まれている方など、調整をしているところです。今後少しずつ調整しながら入っていただけたところは入っていただこうというところです。

(向井委員)

八代小学校の件ですが、利用募集に向けた調整といますか今年度はなくて、来年度に何かあったらそこでの調整でしょうが、例えば今6年生にいるけれども、その子どもたちが卒業したら10人です。そこでまた募集がなかった場合、どうなるのでしょうか。

(教育総務課長)

来年度も募集はかけますけど、そこで思った結果が出なかった場合については、教育委員会からも地域に対しては働きかけをしていく必要があると考えています。

(飯田委員)

八代小学校区の新1年生の中で、日高小学校に通っている子は何人ですか。

(教育総務課長)

1人です。

(教育長)

保護者の声が上がってきましたら、計画より前倒ししないといけません。

(教育長)

続きまして、学校教育課からの報告に移ります。(1) 生徒指導の状況について、学校教育課長の説明をお願いします。

#### (1) 生徒指導の状況について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導の状況について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 令和6年度自然学校の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

## (2) 令和6年度自然学校の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和6年度自然学校の実施について、資料に基づき説明する。

(学校教育課長)

令和6年度自然学校早いところで5月27日から始まる。グループごとに色がついているところが担当校である。今年度は4泊5日で、コロナ前の条件に戻っていく。兵庫県内全て今年度は4泊5日で実施になっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 令和6年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

## (3) 令和6年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和6年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について、資料に基づき説明する。

(学校教育課長)

中学校2年生対象で対象生徒が672人で、事業所数は実数で209となっている。期間は、6月3日から7日の5日間である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(4) 令和6年度修学旅行の実施について、学校教育課長の説明をお願いします。

#### (4) 令和6年度修学旅行の実施について

《学校教育課長の説明概要》

令和6年度修学旅行の実施について、資料に基づき説明する。

修学旅行は早いところが5月15日から始まる。中学校は、東京に行く学校がほとんど戻ったという状況になっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、幼児育成課からの報告に移ります。(1) 校区別乳幼児・児童生徒数について、(2) 2024年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について、(3) 2024年度放課後児童クラブの入所状況について、幼児育成課長の説明をお願いします。

### 3 幼児育成課

#### (1) (2) (3) 校区別乳幼児・児童生徒数、2024年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況、2024年度放課後児童クラブの入所状況について

《幼児育成課長の説明概要》

校区別乳幼児・児童生徒数、2024年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況、2024年度放課後児童クラブの入所状況について、資料に基づき説明する。

校区別乳幼児・児童生徒数の一覧を載せていて、基準日は4月8日である。この表は住民基本台帳のデータを各小学校区単位に集計したものとなっている。未就学児、小学生、中学生を区分けして集計しているが、実際の学校との児童生徒数とは合致しない。参考資料としてこの表をグラフ化しているが、人数が右肩下がりの兆候が顕著になっている。現在の14歳児、中学校3年生が725人に対し、0歳児は376人と346人の減、47.7%の減となっている。6歳児、小学1年生と比べると176人の減、31.7%の減となっている。児童生徒の減少が大きな課題である。

2024年度の幼稚園の園児数の一覧では、日高幼稚園、寺坂幼稚園が3月末で閉園して、4園となっている。園児数は51人。昨年と比較して17人の減。内訳としては、4歳児が9人、5歳児が8人減少。園児数の少ない豊岡と、五荘奈佐、出石幼稚園は4歳児5歳児の混合保育を実施。福住幼稚園は4歳児クラス5歳児クラスの合同保育を実施。

保育所・認定こども園の一覧表では、2号3号認定いわゆる保育認定児は他市等からの委託園児13人を含み合計1,920人となっていて、昨年の2,014人と比較して94人の減となっている。1号認定いわゆる教育認定児は110人で、昨年の131人と比較して21人の減となっている。

参考資料の未就学児施設利用状況は、幼稚園と保育所、認定こども園の利用状況を一覧にまとめたもの。1歳児で66%、2歳児で80%となっていて、低年齢からの利用が増加している。

放課後児童クラブの利用数は1,249人で、昨年の1,324人と比べて75人の減となっている。内訳は、小学生1,223人幼稚園児26人。小学生は、64人の減。全児童数3,601人のうち34%が利用し、



利用率は0.5%の減。地域別では出石地域の利用率が高く、福住は74%の利用である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

放課後児童クラブの件で、高学年になれば家にいることができるから、できるだけ放課後児童クラブは利用しないように、という文章が出ていると聞きますが、そのようなことはありますか。

(幼児育成課長)

確認します。

(教育長)

各課からの報告はこれで終了いたします。

## 【日程 第7 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 こども未来部の報告に移ります。こども支援課 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

### 1 こども支援課

#### (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

こども支援センターの活動状況について、資料に基づき説明する。

不登校については、2022年度と2023年度同じような開所日数だが、1日平均が8.3人であった。開所日数の半数を超えて通所した子が8名いた。ずっと来所を続けた子が多くいたという年度になった。通所が、他者との関わりや、自身を見つめることに働いており、自分に寄り添い、自分の言葉を聞いてくれる他者の存在が自分の居場所を実感するうえで欠かせないということを、子どもたちの様子をみて感じる事ができた年度となった。

今年度は、これらを踏まえて再登校に関する関わりについての学校との連携と、通所している子の個別対応の充実を一層図っていきたい。

特別支援について、2023年度は、生活面でコミュニケーションに課題があるケースが全体の約3割、新規120件中37件を占めていた。不登校傾向がみられるケースも20件と、前年度の11件よりも増加した。ふれあいルームの利用者は5名。

家庭相談について、2023年度の虐待通告件数が前年度の3倍となった。各ケースの継続した見守りと関係機関との連携強化に努めていきたいと考えている。校園長への研修により高まっている虐待への理解と通告義務への意識を維持していく必要を感じる。また、相談件数も年々増加しており各ケースの最新のリスク状況の把握に努める必要があると考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

## 【日程 第8 委員活動報告】

(教育長)

それでは、日程第8 委員活動報告に移ります。

(升田委員)

4月は中学校、小学校、幼稚園の入学式がありました。城崎中学校に行き、今年は新入生20名以上で生徒が増えて校長先生も喜んでいて、厳粛に祝っていただいて、いい入学式でした。

府中小学校、福住幼稚園に行かせていただいて、楽しく安心した入学式でした。両方ともに特別な支援を要する子が入学入園してきていました。府中小でもじっとしていられなかったり、その場所からいなくなったり、入学式の最中にも出たり入ったりしていました。介助の先生たちが上手に対応していて児童もそんなに嫌がることもなくそこに参加したり、最後また一緒にお友達と帰って行ったり上手に介助されていたと感じています。

介助員の方が知っている方だったので話を聞いてみたら、入学式の前に親御さんと1度学校に来られて、このような式場でこんな風にやるとか、子どもさんが興味ありそうなものは移動させて、そこから逃げた場合こういう所に行くだろうと、何日か前にされていたということで、そういう意味では子どもも安心して来られていました。

福住幼稚園の方も6名の入園でしたが、そのお子さんを配慮されていたのかなと思いますが、今までの入園式でしたら新しい園児が椅子に座ってという感じでしたが、保護者の方と一緒にその座席で入園式に参加するというような形式をとって、子どもにとってはお母さんが手の届く所にいるし、手を繋いでもらえるということで、かなり奇声を発していたり、物を投げたりしていましたが、お母さんと一緒になって今後新生活が4月から始まって心配ではあると思いますが、いろいろ協力をしていただけたらと思っています。親御さんが少し不安を感じておられた様子で、そういった厳粛な場で自分の子どもが動くので心配になられたのだらうと思いますが、保護者の方が和らげれば良いなと思って参加させていただきました。

(佐伯委員)

統合式と入学式に行かせていただきました。統合式では寺坂小学校と福住小学校の代表の児童のあいさつも素晴らしかったですし、校長先生のあいさつの中にも、すごくいいことを言われました。新しくスタートした福住小学校が校長先生のもと素晴らしい子どもたちの活動ができるのではないかとすごくうれしい気持ちになりました。入学式も各小学校や中学校に行きましたが、子どもたちが生き生きとしている状況でしたし、今年は珍しく桜の花が咲いている時期での入学式、入園式になってよかったと思っています。

(向井委員)

入学式に行かせていただきました。小学校は田鶴野小学校に行かせていただきました。コミュ

ニティ・スクールとしてスタートした入学式で、評議委員や運営委員がおそろいのにぎやかな入学式でした。その運営委員の方が本当に子どもたちのことがかわいいのだなというのがこちらにも分かるような雰囲気、地域みんなで子ども達を育てていくのだという気持ちが伝わってきて、温かい入学式ですごくうれしく思いました。子ども達も新入生もすごく落ち着いていて、先生の話がよく聞けて本当にいい入学式だなと思いました。

中学校は日高東中に行かせていただきました。小学校の時に登校を渋る生徒がいたようですが、春休みの間に生徒と保護者の方と校長先生とお話したこともあり、入学式は全員出席できて本当によかったと思います。これからも毎日元気で通ってくれることを願っています。

出石幼稚園では去年は20数人いたようですが、今年度は本当に少なく、6人が入園して全部で10数人で、大きな素敵な園舎で少し寂しさも感じました。これも無償化の影響かなと思いますが、子ども達は元気で入園してくれてよかったと思います。

ところで、竹野の子育てセンターはどこに行きましたか。

(教育次長)

健康福祉センターの中になりました。あの場所から、近くの健康福祉センターの方に場所が変わりました。

(向井委員)

あそこは貸してもらえなくなったのですか。

(教育次長)

そういうわけではないです。

(向井委員)

いつも予算が出ていましたよね。では、遊ぶ場所もなく、健康福祉センターのどこかに。

(教育次長)

そうですね。従来は、外は使えていましたけど。

(向井委員)

そうですね。わかりました。

(飯田委員)

入学式は、小学校は城崎に行きました。人数も17人ということでしたので、少ないなと思いました。中学校は出石中学校に行きました。出石中学校は78人と。これも入学式らしい入学式であったと思っていました。やはり子ども達が張り切っていますね。呼名の時の「はい！はい！」という返事が本当に「これから頑張る。」という意気込みを感じた入学式でした。それで各校長先生に「みんな入学生は出ていますか。」と聞いたら、「みんな欠席なしに来てくれる。」と言われ、それが一番うれしかったです。それから豊岡幼稚園に行きました。すごく期待していったのですが、子どもが3人でした。ここも少子化のあおりかなと、せっかくな園舎な

のだからもっと何とかならないかと思いました。

城崎の体育館で雨漏りがあって、スリッパだと滑ります。保護者の方が滑られたら怖いなど。大勢が集まる時には怖いので、ぜひ対処してください。

(教育総務課長)

確認させていただきます。

(飯田委員)

皆さんの意見を聞きたいのですが、3月26日に神戸新聞で「不登校要因、子と学校の認識差」という記事が出ていたのですが、これを読んで、これは学校の先生のこれだけの取り組みの中で子ども達はそのことをきちっと受け止めていない現れではないかと思いました。しかし、新聞記事は逆に言っているのです。学校の話のきっかけになると言っています。私は少し違うのではないかと思いながら見たのですが、皆さんの意見があったら教えてください。

私は日ごろ子どもと接している中で、子どもは何でも発言しますし、思ったことをどんどん言います。それがいいか悪いか判断できないことも言います。だから、設問の中でパッパッと答えてしまいます。しかし、年を重ねていろんな体験をすれば、そのことがいいか悪いか少しずつ判断しながら見ていきます。それが学校の先生方はそういうことを判断しながら見ておられる状況。何でもかんでも「これいじめだ」、ちょっと戯れたら「いじめだ」とか言ってアンケートに答えてしまう子ども。そのようなことの現れがこの新聞ではないかと思いました。ただ、この記者の方はそういう捉え方ではなく、こちらの先生は違う捉え方しておられました。学校現場の先生方のことに触れられていました。いろんな捉え方があると思いますが、違った意味でこのような勉強をしてみたいと感じました。

(教育長)

ありがとうございます。公明党の芦田議員が一般質問で同じような指摘があって、文科省が不登校の区分を決めているのです。その中に、無気力不安っていうのがあって、それが圧倒的に多いです。その無気力不安でなくて、先生との関係性が要因になっているのではないかというような神戸新聞もそのような書き方をしていますが、もともとはその区分がおかしいです。無気力不安というのは色々な要因があった結果そうなっているので、それを容認するべきではないです。それを容認した途端に、解決方法が見えなくなります。要因があって、その要因を解決したら不登校は課題解決になりますが、無気力不安というような要因はないですね。そのことなので、文科はそれを改めると言っています。ただ、不登校の子に、何が原因であるかとなかなか聞けないですし、聞いても分からないですし、後々考えるとこうだったと言えるので、その調査のほうは難しいと思いますが、事実として何があるかということを要因区分にこれからしていくだろうと思います。そんな捉えですので、別に逃げてはいけないと思いますし、やっぱり私たちの関わり方が問題あるかもしれませんし、そういう認識に取らなくてはいけないかもしれないです。そういう受け取り方を私たちはしようと思っています。飯田委員はすごく味方になって頑張れよというようなエールだと思いますし、そのように受け止めたいと思います。また機会がありましたら、総合教育会議でも結構ですので、話ができればと思っています。

## 【日程 第9 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第9 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

### 1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第2回定例教育委員会会議は、5月17日（金）午前9時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催する。

### 2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、5月17日（金）午前9時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催します。

これをもちまして、第1回教育委員会会議を閉会いたします。

---

閉会 午後3時10分

---

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2024年4月22日

教育長

委員